

国際会計論 Exercise

Chapter 9: 有形固定資産の会計

* 解答はすべて解答用紙に記述してください。

問1 有形固定資産の当初認識について説明しなさい。

問2 有形固定資産の事後測定について説明しなさい。

問3 有形固定資産の事後測定において、会計方針として再評価モデルを採用している場合、下記の【資料】に基づいて、(1)から(3)の日付において、非償却資産である土地の評価差額をどのように処理するか答えなさい。

【資料】

(単位: 千円)

	年	月日	摘要	金額	評価差額
	X1年	1月1日	取得原価	10,000	
(1)	X1年	12月31日	再評価額	8,000	-2,000
(2)	X2年	12月31日	再評価額	11,000	3,000
(3)	X3年	12月31日	再評価額	13,000	2,000

問4 X社は、有形固定資産の事後測定において、会計方針として再評価モデルを採用している。下記の【資料】の建物に関して、X3年12月31日の再評価額が1,500千円であったとき、建物の再評価と減価償却の修正に関する会計処理を行いなさい。

【資料】

- 取得日： x1年1月1日
- 取得原価： 2,000千円
- 耐用年数： 5年
- 残存価額： 0円
- 減価償却の方法： 定額法

【解答時の参考資料】

(単位：千円)

	Y/M/D	期首帳簿価額	減価償却費	再評価額	期末帳簿価額	減価償却累計額加算額	減価償却累計額	再評価剰余金
--	-------	--------	-------	------	--------	------------	---------	--------

1	X1/12/31							
2	X2/12/31							
3	X3/12/31							
4	X4/12/31							
5	X5/12/31							

国際会計論 Exercise 解答用紙

Chapter 9	ID Number	Name	Grade
有形固定資産の会計			

問 1

問 2

問 3

(単位：千円)

	再評価の日		再評価剰余金	土地評価益
(1)	X2	3/31		
(2)	X3	3/31		
(3)	X4	3/31		

問 4

(単位 : 円)

	M/D	Debit	amount	Credit	amount
(1)	12/31				